



岩手県立軽米病院 看護科の紹介

軽米町

九戸スキー場も近い！

フォリストパーク軽米



テニスコート



雪谷川ダムの橋



ハートフル・スポーツランド



岩手県立軽米病院



県北地域の急性期～慢性期医療の砦
一般病棟と療養病棟を併せもつケアミックス型の地域病院

地域に根ざした医療の実践と
地域の保健・福祉との連携により
住民に信頼され親しまれる病院
地域づくりに貢献する病院を
目指します



- **病床数** 98床
一般病棟：32床 地域包括ケア病床：21床
療養病棟：45床
- **標榜診療科** ・内科・外科・小児科・精神科
・リハビリテーション科
- **一般入院基本料** 10：1 看護体制
- **看護提供方式** PNS





岩手県立軽米病院の特徴



質の高い糖尿病医療、地域医療の提供



資格取得や研修会、学会参加に積極的な
スタッフが多い



学びを支援する体制の充実

修学や試験前後の休暇、学会・研修会への派遣



資格を活用できる業務環境の調整

スタッフの能力・考えを尊重したバックアップ



院内外が多職種連携による患者、地域住民支援

生活習慣病の予防啓発活動

一般病棟（地域包括ケア病床含む）の看護の実際

➤ 一般病棟

急性期、慢性期の入院患者に早期から社会、在宅復帰に向け、受持ち看護師が中心となり退院支援を行っています
糖尿病教育入院や消化器内視鏡によるポリープ切除を目的とした短期入院支援を行っています



➤ 地域包括ケア病床

住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目的として
急性期治療が一段落した患者への支援（ポストアキュート）
在宅や介護施設等における軽微な症状を有する患者への支援（サブアキュート）

療養病棟・外来の看護の実際

➤療養病棟

日常生活援助を通じて、患者さんの残された機能低下防止と生活自立度が拡大するように多職種と連携し看護を実践しています



➤外来

継続看護が必要な患者さんに受持ち制を取り
社会資源の情報提供、介護指導を実施
外来待ち時間を利用しての生活指導の実施



岩手県立軽米病院看護科の紹介

看護師 : 52人 看護補助者 : 20人



● 働きやすい環境づくり

全職員で「**ノー残業デイ**」の実施

長期休業者復帰支援

ワークライフバランスの重視

年次取得の推進 部分休業の活用

● 院内研修会

○ クリニカルラダー別研修 ○ KYT ○ 医療安全

○ 感染 ○ BLS ○ 看護研究

○ 糖尿病 ○ 救急看護 ○ 認知症 ○ NST ○ 緩和ケア

○ メンタルヘルス ○ ハラスメント等

内科

外科

小児科

精神科

脳神経
内科

循環器
内科

眼科

糖尿病
外来

ドック

健診

内視鏡
検査

訪問
診療

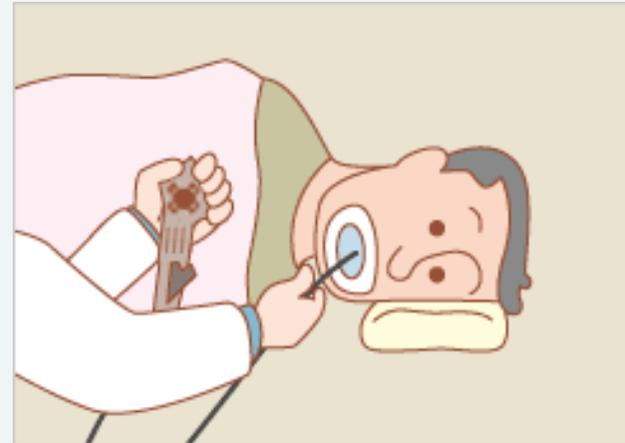
外来部門



看護師 14名
看護補助者 1名

内視鏡室

上部：370件、下部250件
出血・異物除去など緊急内視鏡対応



フットケア

神経障害や血流、皮膚(病変、乾燥、湿潤、体温、臭い等)
履物や生活、仕事の状況を確認



- ・フットチェックや爪切り
- ・糖尿病や合併症のお話
- ・セルフケア指導

足浴をしながら普段の生活や
血糖コントロールについてのお話



糖尿病透析予防指導

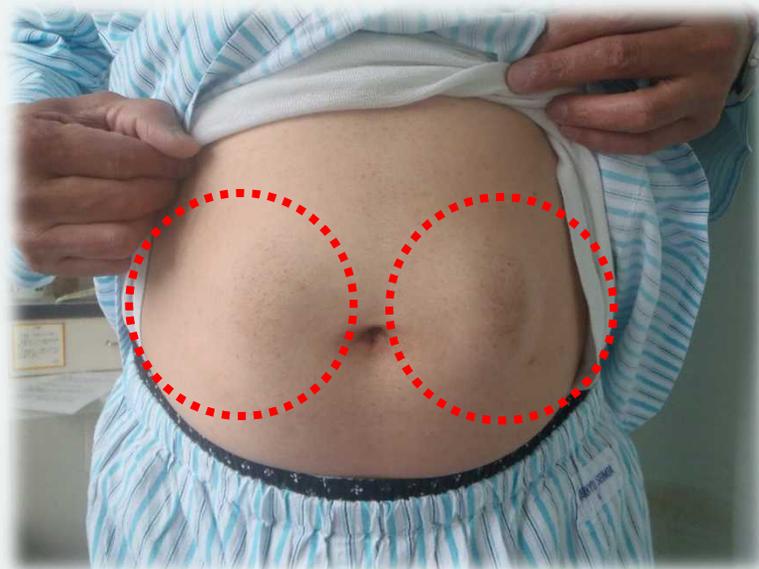
医師、管理栄養士、看護師による指導

- ・糖尿病と合併症についてのお話
- ・今現在の患者さんの腎症進行状況についてお話

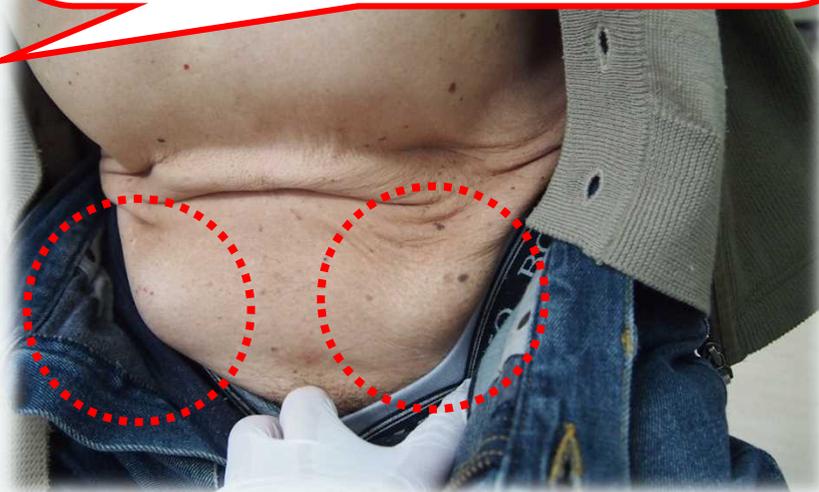


- ・血糖コントロールや塩分等普段の生活状況の確認
- ・フットケアや眼科受診等の必要性を確認
- ・今後の目標を共有

インスリン療法患者への支援



- ・インスリンボールの確認
- ・注射のローテーションや手技
保管状況等指導
- ・気持ちやストレス、生活での
困難状況等の確認



外来看護面談

- 糖尿病看護認定看護師
 - 日本糖尿病療養指導士
 - 慢性疾患看護専門看護師
- による面談



検査や診察の待ち時間を活用
在宅療養の様子や患者の考えを伺いながら
より生活にあった治療法や自己管理方法を共に考える

退院後や外来で新しい薬剤開始時等の 電話訪問

- ・調子はいかがですか？
- ・お困りのことは無いですか？



注射はだいぶ慣れました

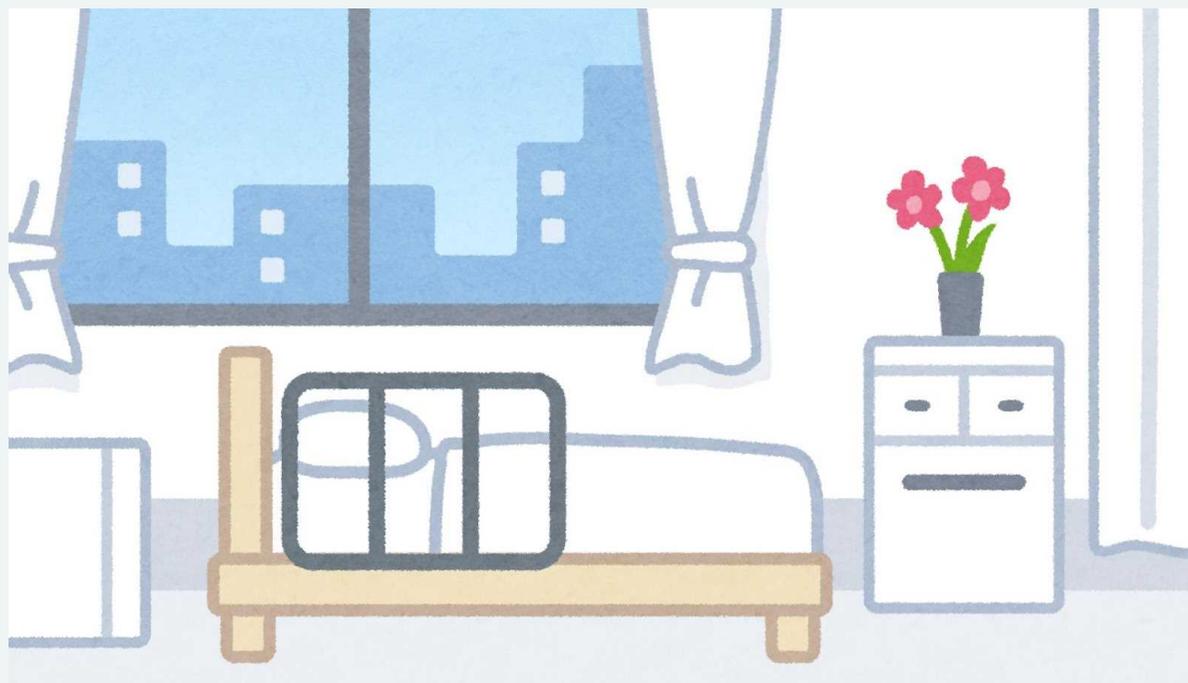
訪問診療

2回/月(10名程度の対象者)



診療の補助
患者の観察
患者、家族と看護計画の共有
家族の悩みや介護状況の確認

病棟部門



一般病棟（地域包括ケア病床含む）の特徴



- 幅広い患者に対応（消化器系、呼吸器系、脳神経、循環器、外科など）
- 軽米町を中心とした地元の一次医療、二戸圏域・久慈圏域の慢性期患者受け入れ



病棟看護スタッフ 33名

- 看護師 25名
- 看護補助者（ケアワーカー） 8名

一般病棟（地域包括ケア病床含む）の特徴



一般病床：

- 急性期から回復期の継続治療
- 糖尿病教育入院（多職種が関わり糖尿病患者への教育・指導）
- 内視鏡的治療の短期入院
- 日常生活援助、入院早期からの退院支援



地域包括ケア病床：

- 社会復帰支援（治療が終わり、退院に不安がある場合に、リハビリを継続しながら在宅復帰支援）
- 施設・在宅の患者さんの状態悪化時の受け入れ
- レスパイト入院（介護家族支援短期入院）対応

医療保険型療養病棟の特徴



入院患者割合(病床数 45床)

- ・ 65歳以上:94% 80歳以上:55%
- ・ 認知症の診断および疑いのある方 5~6割



病棟看護スタッフ 21名

- ・ 看護師 10名
- ・ 看護補助者(ケアワーカー) 11名



日々の業務

- ・ 日常生活援助(リハビリ含む)、退院調整支援、看取りの方の援助、点滴治療など医療行為

病棟での認知症看護の取り組み

現実見当識への働きかけ

- ・ 病棟内の装飾
(季節に応じた飾り付け)
- ・ クリスマス会、お花見会、
お月見会など
季節毎の行事
- ・ 食事時間は食堂へ誘導、
お口の体操、他患者との
ふれあいの促進



病棟での認知症看護の取り組み

場所の見当識への働きかけ
(イラストと番号にて表示)



病棟での認知症看護の取り組み

身体抑制縮小化への取り組み

- ・ 身体抑制カンファレンス(週1回定期、日々のADLに応じて個別カンファレンス)

多職種カンファレンス

- ・ 月1回の合同ミーティング(医師、退院調整看護師、病棟スタッフ、リハビリスタッフ、栄養士)にて認知機能を含めたADL状況、退院調整の状況など情報共有

入院患者カンファレンス

医師、看護師
理学療法士、作業療法士管理栄養士、薬剤師 等
多職種の
専門的な見地からの情報を共有

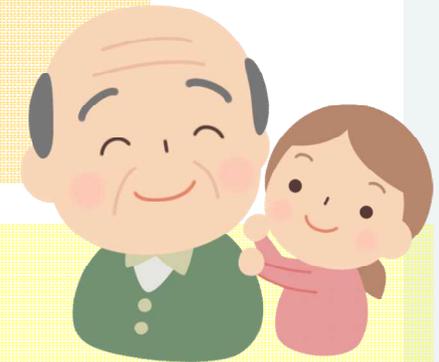


退院支援における看護実践

社会復帰支援、在宅療養移行支援

在宅での介護が困難な患者・家族への退院支援

退院先の決定だけでなく
患者がその人らしく生活していけるよう支援



- 望む生き方が実現できるよう支援
- 療養環境の準備
- 患者の長い人生史をふまえ、生活の中で大切にしていることや楽しみなどは継続できるように院内外多職種と協働
- 綿密な情報共有：
 - 多職種合同ミーティング
 - 個別ケア会議、軽米町保健医療福祉連絡会議
 - 近隣市町村の保健福祉担当者との連絡会議

- ▶ 社会制度活用の手続き（生活基盤を整えるところから）
- ▶ 食事の内容や作り方までを含めた栄養指導
- ▶ 薬剤指導と連携した内服の自己管理トレーニング
- ▶ 自宅の構造に合わせた日常生活の中での細かな動作訓練など

看護師ならではの視点を活かした
多職種間連携のコーディネート



資格取得、研修修了の状況



軽米病院看護師の資格取得、研修修了の状況

看護師
52名

- 慢性疾患看護専門看護師: 1名
- 糖尿病看護認定看護師: 1名
- 認知症看護認定看護師: 1名
- 看護管理研修ファーストレベル: 10名
- セカンドレベル: 3名
- サードレベル: 1名

就職後の大学・大学院進学者

マネジメント学学士: 1名、人間科学学士: 1名
看護学学士: 1名、看護学修士: 1名

看護師
52名

- 看護研究指導者養成講習会：2名
- 実習指導者講習会：14名
- 臨床輸血看護師：1名
- 感染制御スタッフICS養成：1名
- 栄養サポートチーム専門療養士：3名
- NANDA指導者養成：4名
- 災害看護：2名
- 医療安全管理者養成研修：3名
- 医療安全管理者養成研修会：管理1名、実践1名
- 消化器内視鏡技師：8名
- 呼吸療法認定士：2名
- 糖尿病療養指導士：9名（のべ：36名、うち看護師24名）

看護師
52名

- 一時救命処置(BLS):17名
- 二次救命処置(ACLS):4名(EPコース修了1名)
- 神経救急蘇生(ISLS)/脳卒中・意識障害病院前救護PSLS:1名
- 外傷救急初期診療(PTLS):1名
- 心停止に即座に対応する処置(ICLS):1名
- 病院前外傷プログラム(JPTEC):1名
- 外傷初期看護(JNTEC):1名
- 新生児蘇生法専門コース:1名
- ケアマネージャー:2名
- 第一種圧力容器取得主任:5名
- 院内コーディネーター研修:2名
- メディエーター養成研修:2名
- 看護必要度評価者院内指導者:5名

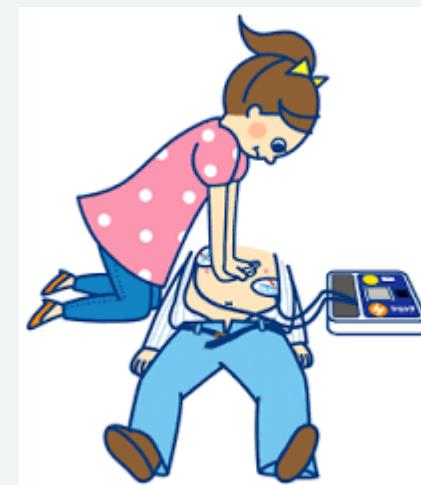
資格や研修を活かした看護、活動の一例

- 急患や急変時の対応が不安なく、スムーズに！

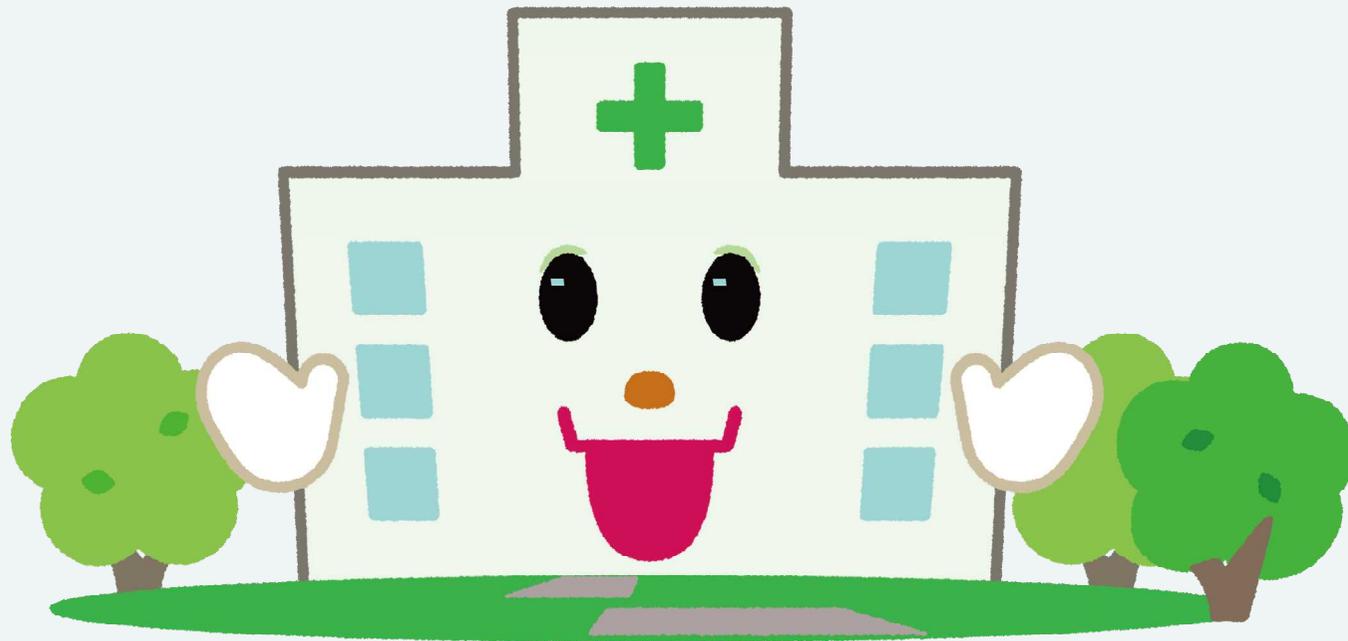


資格や研修を活かした看護、活動の一例

- ・ 院内で倒れた方に迅速な対応！AEDでの処置



院内外での各種取り組み



看護の日イベント

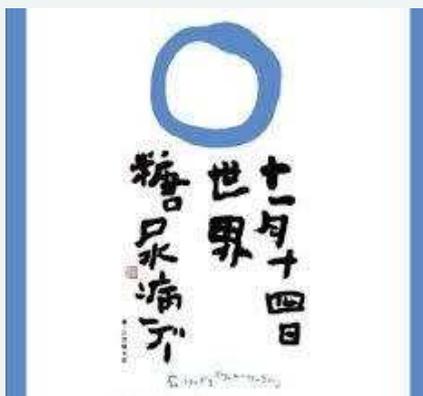
(簡易血糖測定、簡易血管年齢測定・看護相談)



簡易血糖測定や簡易ABIをしながら
患者さん、家族のこと
在宅での介護について相談

世界糖尿病デーのイベント

(簡易血糖測定、簡易血管検査、味噌汁試飲・栄養相談
軽運動・看護相談)



血糖値や血圧を
測定しながら相談、指導

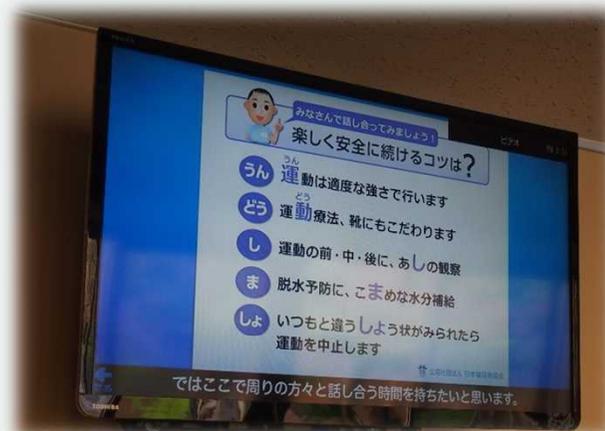


糖尿病症例検討会（4回/年）

医師、看護師の他、薬剤師、臨床検査技師
理学療法士、作業療法士、管理栄養士 等
多職種で事例を出し合い より良い支援を検討



糖尿病関連の院内展示・掲示



<フットケアのご案内> 糖尿病のこと・足のこと、ご相談ください

「フットケア」では、糖尿病を専門にしている看護師が、足の観察や神経障害・血流障害の程度をチェックし、足の手入れをいたします。足のトラブルがあった場合は、医師の診察があります。

あなたの大切な足・生活習慣等について相談しませんか。

対象者: 当院通院中の糖尿病患者
時間: 予約制(相談に応じます)
*足の状況によりですが、30分~1時間かかります。
場所: 外来 (外科外来: 状況に応じ変更あり)
内容: 足の観察、足浴、簡易検査による足のトラブルの危険度チェック
靴の確認・足の状態に応じて爪切り等、生活、療養についての相談
受診方法: 看護師へ相談の上、予約になります。



小児健康教室(にこにこ教室)

軽米町内の小・中学校への出前授業

- A小学校：8月
- B小学校：9月
- C小学校：10月
- D中学校：11月

・小児科医師
・管理栄養士
・理学療法士
・作業療法士
・看護師
・町の保健師
連携して行う



生活習慣が病気の
原因になることを
知りました



緊張しないで参加できる
家族で運動の時間を
決めるようにしました

小児健康教室(にこにこ教室)の実際

生活習慣病についての
スライドや質問形式でお話



児童・保護者と一緒に運動



出前教室

地域の方の集会で
生活習慣病予防の
お話や軽運動



新蛇口地域資源保全会研修会
平成28年6月5日(日)

“生活習慣病教室 出前版”

生活習慣病予防のコツ
～糖尿病を中心に～



岩手県立軽米病院
日本糖尿病療養指導士
糖尿病看護認定看護師
君成田 大

出前教室

健診で血糖値が高めだった方々に
出前方式で糖尿病のお話

町民の方と
一緒に運動



町民の方と
一緒に食事や
血糖測定体験



施設等での出前フットケア実技

老健にてフットケアの
お話 & 実技
(模型で実際ニッパーを使う)



地域住民のための健康教室

・内科医師
・管理栄養士
・理学療法士
・薬剤師
・看護師
が
連携して行う



院内の生活習慣病教室

糖尿病や合併症
食事、運動
生活習慣について

車いすやベッドの
介助方法
感染予防や
手洗いについて



介護教室

卒業生から...新採用から勤務する看護師より

病院の研修体制

クリニカルラダーレベルに沿った研修

県立病院のネットワークを活かした集合研修

他病院の新採用者と同じペースで研修が進む

プリセプターシップ

先輩が成長をサポート

退職せずに様々な病院で
経験を積むことが可能

県立病院だけの強み



軽米病院のここがいい！

学べる最高の環境

○医療局・病院からのキャリア支援

認定看護師教育課程への派遣

大学・大学院進学支援

各種資格取得支援

興味・関心のある研修会への派遣

○病院スタッフの理解と惜しみない協力

いけいけ
どんどん！

休みの調整、励まし

信じて応援して下さる声

君なら
できる！



スキルを活かせる環境

地域病院

- 急性期以後の長い経過も支える
大学病院などの急性期病院 → 地域病院
地域病院 → 地域へ戻る

病気をもちながら地域で暮らすことを支える役割

- ・ケアとキュアを統合し
その人に合った療養環境、方法を共に見つける
- ・シームレスな療養移行支援のための多職種協働
- ・外来での療養面談・指導



専門的な知識を活かすことができる

効率よく質の高い医療を目指す病院のスタッフ活用





地域の皆さまへ安全で安心な質の
高い看護の提供を目指しています